

かき



主な加害種:ヒヨドリ、ムクドリ、カラス、サル、ハクビシ ン、アライグマ

かきは鳥ではムクドリ、ヒヨドリ、カラスが主に食害するが、皮が柔らかいため判別が難しく、複数種に よる被害であることも多い。メジロなども食害する。獣類ではサル、ハクビシン、アライグマなどが食害 する。



加害種:ヒヨドリ

果皮についている V 字型の切り裂きが細く、食 痕も浅く、カラスとは異なる。ヒヨドリが食害して いたところを観察した。

撮影:山口



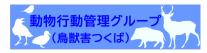
加害種:ムクドリ

ムクドリが食べているところを確認した。次の写 真のように、果実が傷んだ部分から食害が始ま ることはよくみられる。

撮影:吉田







鳥獸害痕跡図鑑



加害種:ハシブトガラス

果皮についている V 字型の切り裂きが太く、ハシブトガラスの嘴の大きさである。なお、この写真は少し乾燥して特徴が分かりにくい。

撮影:吉田



加害種:ハシブトガラス

ハシブトガラスが群れで食べているところを確認した。果肉についた嘴の痕が太い。

撮影:吉田



加害種:ハシブトガラス

ハシブトガラスが群れで食べているところを確認した。果肉についた嘴の痕が太い。樹下に落ちて食害されていた果実。

撮影:吉田



加害種:ムクドリ

ムクドリは群れで食害することが多い。

撮影:山口

2





加害種:ハシブトガラス

飼育個体での摂食実験時の写真。ハシブ トガラスの大きなくちばしでついばんだ痕 がわかる。カラスは果実の皮(写真内の 小片)を食べずに残すことがある。

撮影:吉田



加害種:ハシボソガラス

飼育個体での摂食実験時の写真。ハシボソガ ラスの細いくちばしで何度も細かくついばんだ 痕がわかる。ムクドリやヒヨドリの食痕と区別し にくい。

撮影:吉田



く参考>タヌキ、アナグマ

摘果した西条柿をタヌキ(左奥)とアナグ マ(右)が夜間に食べに来ていた。ハクビ シンやアライグマとは異なり、タヌキやア ナグマは木に登ることは少ないため、樹 上の果実を食害することはあまりないが、 このように地面にある果実はよく食べる。

撮影:上田